

頑張る

農業法人

「魅力ある事業として農業をやりたい」との思いが、新規就農して6年目に、舞鶴市志高で農業生産法人(株)アグリイベリスを設立した代表取締役の後守貴博さん(36)。花苗の生産・販売に取り組み、当初の10万ポットから、現在は野菜苗と合わせて100万ポットの受注生産を実現している。

業をしたい」との思いが強まり、2000年に脱サラを決意。年間を通して販売が可能で、事業化できるものとして花苗に着目、兵庫県内の農家と府研究機関で1年間研修を受けた。

その後、10㍊の農地を借り、研修で得た技術を生かして、6棟のハウスでベゴニア、マリーゴールドなどの花苗生産に挑戦した。自らホームセンターなどに足を運んで販路を開拓し、年間10万ポットを出荷した。徐々にハウスを増設し、従業員を雇用するまでになった。

同社がある志高地区は、舞鶴市西部の由良川に接したところにある。後守さんの両親は水稻中心の兼業農家だったが、長男の後守さんは「将来は農業を継がなければ」との気持ちで心の底に持ちつつ、短大を卒業後、福知山市内の飲食店で調理師の仕事に就いた。

働くうち、「農業で事

経営が軌道に乗ってきた04年、台風23号の襲来で由良川が氾濫、ハウス全てが浸水被害を受けた。「途方に暮れる中、ボランティアの方々に支

市 高
舞 鶴 志

(株)アグリイベリス

花、野菜100万ポット受注生産

花苗の栽培管理に励む後守さん(舞鶴市志高の(株)アグリイベリスのハウスで)



魅力ある苗事業めざす

り、3年前から野菜苗生産も手掛け、現在は65㍊のハウス20棟で野菜苗20品目、花苗30品目を生産、年間100万ポットの販売目標を達成し、維持している。

出荷先からは「品質が良い」と評価が高く、約9割が受注生産となっており、安定した経営を実現している。

栽培技術を取得した若手従業員を雇用したこともあり、今年からJAの指導を得て、以前から検討していた米や野菜の生産にも取り組み、「複合経営を目指したい」と意欲を燃やす。

後守さんは「社名のイベリスの花言葉『魅力ある』『人を引き付ける』の通り、農業で魅力ある事業展開を目指したい」と語る。

援してもらい、復興することができた」と当時を振り返る。

向上と、雇用者からの信頼を得るため、06年に法人化した。代表取締役で

さらに、社会的信用のある後守さんと従業員2人、パートタイマー6人で経営に取り組む。

家庭菜園ブームもあ

▽農業生産法人「(株)アグリイベリス」の所在地
舞鶴市志高601。電話
0773(83)0082。